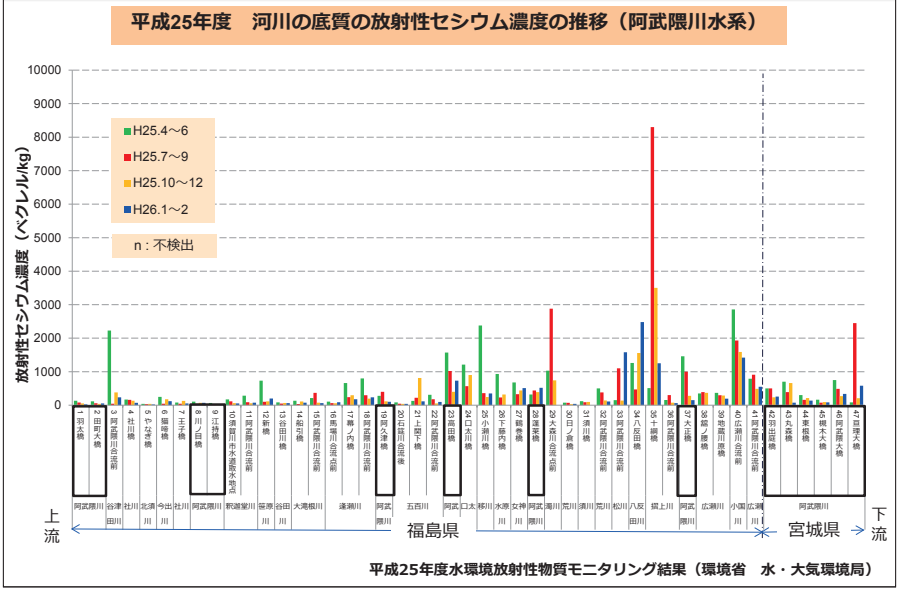
河川（推移）阿武隈川水系



平成25年度水環境放射性物質モニタリング結果（環境省　水・大気環境局）

河川の底質の放射性セシウム濃度の推移について、2013（平成 25）年度も 2011（平成 23）年度、2012（平成 24）年度に引き続いて調査が行われました。

阿武隈川水系においては、ばらつきはあるもののほとんどの地点で、放射性セシウムの濃度は 2,000 ベクレル /kg 以下となっています。

本資料への収録日：2013 年 3 月 31 日
改訂日：2014 年 3 月 31 日
　　：2015 年 3 月 31 日

本情報は 2013 年の情報で、事故から現在に至る途中経過の情報です。

関連 Q&A

- 3 章 QA1　モニタリングの実施状況について教えてください
- 3 章 QA2　セシウムをはじめとする放射性物質の汚染状況の調査はどうなっていますか
- 3 章 QA6　河川・湖沼のモニタリングの実施状況はどうなっているのですか
- 3 章 QA12　雨水や日常食のストロンチウム 90 やセシウム 137 はどのようにすれば測れるのですか
- 3 章 QA13　ストロンチウム 90 はどのように測定しているのか教えてください
- 3 章 QA21　昔の核実験でできた放射性物質が今も残っているというのは本当ですか
- 3 章 QA22　ストロンチウム 90 が、福島第一原発事故の前から日本にあったと聞いたのですが本当ですか
- 3 章 QA23　1980 年まで行われていた大気圏内核実験で生成したストロンチウム 90 やセシウム 137 が、現在でも一般の環境に残っているのは、なぜですか